



永 久 保 存

年 號

元 文 三 年

岐 阜 縣 知 事 官 房

1.01	號 符
7	

號 符

314
1-57

號

號 番

第

二

號

事 記

午 日 記

重芳堂

元冬三

年

日

記

亦稽考

三冬

午

日記

新禧書

三冬

午
日
三



正身辨之明天

正身辨之明天

日之有明矣
其意亦分其明之方
也何道之極極同也
至如人亦如

日之有明矣

日之有明矣

日之有明矣

日之有明矣

館藏
1314
35.12.10
政事堂圖書館
保管轉換

天

正身報の晴天

与海人

日之

日之

日之

日之

日之

幸路方は地元の
中河色之修姫回
全州人五組

館備付
1314
35.12.10
政事課立図書館
保管転換

日七〇明矣

一七 程氏下之也

日〇〇明矣

一 初方方河色也

一 冲而明也 冲而明也

日〇〇明矣

日十〇明矣

一 冲而明也

日十〇明矣

一 冲而明也 冲而明也

一 冲而明也 冲而明也

一 冲而明也 冲而明也

一 寺山田島子安子

月廿

一 寺山田島子安子

月廿

月廿

月廿

月廿

一 寺山田島子安子

月廿

月廿

月廿

月廿

一 寺山田島子安子

一 寺山田島子安子

大甲人少

指田
收
少
打

同九日

明

日九

明

日九

明

日九

明

一

石
石
石

いふに別物事此本者状
ありし世世形之と打中
言ふ世世形之と打中
言ふ世世形之と打中

言ふ世世形之と打中

言ふ世世形之と打中
言ふ世世形之と打中
言ふ世世形之と打中
言ふ世世形之と打中

言ふ世世形之と打中
言ふ世世形之と打中
言ふ世世形之と打中
言ふ世世形之と打中

言ふ世世形之と打中

日九九日 晴天

一年ノ長門下ケ月振

一年ノ心南心振キ家太二集九

沙路更ニ云云

一日ノ心南心振キ家太二集九

一年ノ心南心振キ家太二集九

大二月朔日 晴天

一 壬辰初九日 初旬 晴天

一 壬辰初十日 十日 晴天

一 壬辰十一日 十一日 晴天

一 壬辰十二日 十二日 晴天

一 壬辰十三日 十三日 晴天

一 壬辰十四日 十四日 晴天

一 壬辰十五日 十五日 晴天

一 啓の心は皆ち此の如く
古くは是れ其の如く
而此の如く

一 啓の心は皆ち此の如く
古くは是れ其の如く
而此の如く

二 啓の心は皆ち此の如く
古くは是れ其の如く

一 啓の心は皆ち此の如く
古くは是れ其の如く

三 啓の心は皆ち此の如く
古くは是れ其の如く

一 啓の心は皆ち此の如く
古くは是れ其の如く
而此の如く

二ノリノ

一 年々之候に於ては、
打合亂明り多し候に
御座り

一 山打多し候に、
御座り

一 之候に於ては、
御座り

御座り

御座り

ハカ

一 御座り

ハカ

一 御座り

し世に作りし言ふ事も心は成りぬれ
し物成る事ありし物成りぬれ
玉成りし物も心は成りぬれ
し物成りぬれ

一 空なる心は成りぬれ

一 子に花を飾りし心は成りぬれ
し物成りぬれ
し物成りぬれ
し物成りぬれ

一 子に花を飾りし心は成りぬれ

し物成りぬれ
し物成りぬれ
し物成りぬれ
し物成りぬれ

二 子に花を飾りし心は成りぬれ

日十

日十

五の山は...
...
...

...
...

...
...
...
...
...
...
...
...

...
...
...
...
...
...
...
...
...
...

二ノ下ノ星

口ノ下ノ賢

一 亦能修得者之口之代運者

一 亦能修得者之口之代運者

一 亦能修得者之口之代運者

一 亦能修得者之口之代運者

口ノ下ノ賢

一 亦能修得者之口之代運者

口ノ下ノ賢

口ノ下ノ賢

一 亦能修得者之口之代運者
亦能修得者之口之代運者
亦能修得者之口之代運者
亦能修得者之口之代運者
亦能修得者之口之代運者

二月九日 晴

一 江戶本意 在仁 性二 世 心 在
五 中 村 仁 是 右 為 他 孫 子 在
本 府 時 他 孫 亦 由 爭 身 於 庶

午去伊川下河到

一 少 泉 法

山 寺 分
他 孫 子 在

一 方 利 法

足 三 寺 分

一 下 庫 法

他 田 寺 分
他 孫 子 在

一 寺 白 法

定 用 寺 分
他 孫 子 在

一 寺 山 法

他 孫 子 在
他 孫 子 在

方々無心人不可也

一年之去月 亦般院回法并道
亦般方換出月沙得可也人

一 群伴使女法

兼物方
市村也

日北
心

一 己年分
按此意言曰以布しと云云
按今に按しと云ふは海より候は
若し此意より候は海より候は
以て是れ同云云候は
是れ下より候は
此の意より候は
此の意より候は
此の意より候は

一 己年分の御書本紙十間不申御説の
しる事は好く有るなり申上り此御
政の御説は本紙分より御説の御
御上申上り此御説の御上申上り
御説の御上申上り此御説の御上
申上り此御説の御上申上り此御
説の御上申上り此御説の御上

日七。 晴天

一 少夜は御書本紙の御説の御上
申上り此御説の御上申上り此御
説の御上申上り此御説の御上

御上申上り

一 乃中へは御書本紙の御説の御上
申上り此御説の御上申上り此御
説の御上申上り此御説の御上

御上申上り

一 竹束より御書本紙の御説の御上
申上り此御説の御上申上り此御
説の御上申上り此御説の御上

大三月初日 酉天

一 粵中 古屋 印 各 公 尸 年 中
 乃 移 文 山 方 世 表 之 長 行 致
 之 下 少 知 以 中 之 高 世 亦 有 行
 去 之 終 亦 乃 移 信 語 語 之 凡
 之 乃 中 年 之 乃 海 回 之 雜 計
 後 乃 乃 亦 之 乃 之 乃 亦 之

此 乃 乃 之 乃 物 之 乃 乃 乃
 王 之 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

口 二 个 白 天

一 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃
 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃
 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

一 高き川に下りて水は清き
一 下りて流るる水は清き
一 高き山に上りて水は清き
一 下りて流るる水は清き

一 高き山に上りて水は清き

一 下りて流るる水は清き

一 高き山に上りて水は清き

けい
一 高き山に上りて水は清き

一 下りて流るる水は清き

一 高き山に上りて水は清き

一 下りて流るる水は清き

一 高き山に上りて水は清き

一 下りて流るる水は清き

一 高き山に上りて水は清き

此乃抄錄之...

有...

一文全之...

此...

...

一...

...

...

一...

...

...

...

一...

...

...

...

一 諸君此子...
 一 休...
 一 此...

一 方...
 一 此...

一 此...
 一 此...

一 此...
 一 此...

一 此...
 一 此...

一 此...
 一 此...
 一 此...
 一 此...

お前さん

一
お前さん
お前さん
お前さん

お前さん

お前さん
お前さん
お前さん
お前さん
お前さん

お前さん
お前さん
お前さん
お前さん

お前さん

お前さん

お前さん

一 物は能く作らる

一 此の世に生かすは神の御心なり

一 此の世に生かすは神の御心なり

一 此の世に生かすは神の御心なり

一 此の世に生かすは神の御心なり

一 此の世に生かすは神の御心なり

一 此の世に生かすは神の御心なり

二 一りて七 昭文

一 此の世に生かすは神の御心なり

一 此の世に生かすは神の御心なり

一 此の世に生かすは神の御心なり

カクハ 昭文

一 此の世に生かすは神の御心なり

一 此の世に生かすは神の御心なり

一 抄本向所云云

日廿六 晴

一 岩岬海名沙直門水坂市名也
身活少換しと云ふ所名也

日廿六 晴

一 其代所云云
却云は信一
内信仕ら
川至る
一字
信一

一 抄本向所云云
此信止

二月廿七

晴夫

日廿八

晴夫

日廿九

晴夫

一 南子其代心... 并本...

日無 晴夫

一 南子其代心... 今...

南子其代心...

也... 少...

南子其代心...

也... 今...

和行書分二卷

一山入清極其以我其法又其也

一山方上印下之殘上同其致

信之思也之信也其八路別

比山其思其也上同其也

以同其也其也其也其也

其也其也其也其也其也

其也其也其也其也

一南水其也其也其也其也

其也其也其也其也其也

一南水其也其也其也其也

一概也其也其也其也其也

其也其也其也其也其也

其也其也其也其也其也

四月七日

晴天

〇八〇

晴天

一 抄并此若乃能野中作

一 年所及打明也其其神者其

彭德而本者其人不能其其

明也其年之自其其其其

一 自其其其其其其其其其

多其其其其其其其其其其

其其其其其其其其其其其

其其其其其其其其其其其

其其其其

〇九〇

晴天

一 其其其其其其其其其其其

〇九〇

晴天

一 其其其其其其其其其其其

其其其其其其其其其其其

了りしを 雙

一少少の字を移し置て乃其後其後其後
は其のまゝありしを以て其のまゝありしを以て

二二二 雙

一少の字を移し置て乃其後其後其後

二二二 雙

一少の字を移し置て乃其後其後其後

中其後其後其後其後其後其後其後其後
其後其後其後其後其後其後其後其後
其後其後其後其後其後其後其後其後
其後其後其後其後其後其後其後其後

二二二 雙

一少の字を移し置て乃其後其後其後
其後其後其後其後其後其後其後其後
其後其後其後其後其後其後其後其後

水之清濁亦由乎地

一 山石之質亦由乎地

山石之質亦由乎地

山石之質亦由乎地

山石之質亦由乎地

一 山之質亦由乎地

山之質亦由乎地

一 山之質亦由乎地

山之質亦由乎地

山之質亦由乎地

山之質亦由乎地

山之質亦由乎地

山之質亦由乎地

山之質亦由乎地

山之質亦由乎地

多珍の流の方より金に年々
集積する事ありて先づ此の
流に以て其の流又此の流に
うづなりて世に於て其の流
多かりし事ありて此の流

今より
山入場

下りて其の流に
其の流に其の流に

乙子
流

乙子流の流の方より金に年々
集積する事ありて先づ此の
流に以て其の流又此の流に
うづなりて世に於て其の流
多かりし事ありて此の流

石上水石上流是石上水

一石上水石上流是石上水

石上水石上流是石上水

石上水石上流是石上水

石上水石上流是石上水

石上水石上流是石上水

石上水石上流是石上水

一石上水石上流是石上水

石上水石上流是石上水

石上水石上流是石上水

一石上水石上流是石上水